

# 質問

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。  
市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。  
9月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録  
三田市議会インターネット中継  
検索

## 美藤 和広 議員

市民の会

### 施設

#### 成長期の施設、どう見直す？ 三田・三輪の市民センターは？

**議員** 施設白書（使用状況・運用/修繕改修費用など）を整備して長期的に目的や方法を見直し、市民の理解のもと、対策・費用計画が必要ではないか。また、三田・三輪地区の市民センターの計画は。

**市** 公共施設マネジメント計画の策定に取り組む。施設白書を近々公表し、次に公共施設マネジメント計画の策定に取り組む。（浮田総務部長）  
公民館を三田地区の市民センターとして、まちづくり協働センターを三輪地区の市民センターとしても運用できるよう進める。（本田まちづくり部長）

**他の質問** 森新市長の方針、地域の医療と介護

## 多宮 健二 議員

新政みらい・維新

### 市職員

#### 市職員の人材育成と 給与構造改革について

**議員** 意欲溢れるリーダー的職員を育成するため、どう意識改革を行うのか。頑張っている職員を正当に評価されるような給与構造改革を行うべきと考えるが。

**市** 人材育成、給与構造改革へ取り組む。  
時代の変化に柔軟に対応できる組織風土を創るため、効果的な研修や、外部との人事交流を積極的に進める。頑張ったことが正当に評価され、反映される仕組みが必要、そのために人事評価制度を構築し、給与構造改革には早期に取り組んでいきたい。（市長）

**他の質問** 子育て世代に対する労働環境整備

## 長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団

### 福祉

#### 性的マイノリティーに 関する支援は

**議員** 性的マイノリティーが13人にひとりといわれる中、性的マイノリティーに関する正しい情報の発信と、誰もが自分らしくそのまま生きるための学校現場や市としての支援はどのように行っていくのか？また、パートナーシップ証明書は。

**市** 知識普及に努めながら調査研究をすすめる  
学校現場ではきめ細かな対応の周知徹底と、さらなる体制整備を進める。（岡崎学校教育部長）  
正しい知識の普及や周知啓発に努める。現段階で証明書の発行は考えていないが、他市事例の調査・研究を行う。（本田まちづくり部長）

**他の質問** 子ども子育て支援新制度実施後の市の対応、市のエネルギー政策



**説明** \*性的マイノリティ:「セクシュアルマイノリティ」「性的少数者」なども表現される。一般的に同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー(性同一性障害の当事者含む)などが含まれる。

## 國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団

### 高齢者

#### 高齢者交通費助成の 利用拡大や、増額について

**議員** 農村地域においては、助成券があっても乗るバスがないなどの状況にあり、高齢者の積極的な外出支援策として、助成券をタクシー、JRへの利用に拡大すべきではないか、また、1回の乗車で多額の運賃が必要な地域があり、公共交通の利便性に地域間格差があることを踏まえると、助成額の増額が必要ではないか。

**市** 総合的に検討する  
市内交通ネットワークと合わせて、総合的に検討していく。（本田まちづくり部長）

**他の質問** 市長の政治姿勢、交通不便地域への対策

## 檜田 充 議員

市民の会

### 教育

#### 全ての子どもが 安心して学べる学校に

**議員** 県下の小中学校では、多くの学校にエレベーターが設置されている。本市においても、全ての子どもが安心して地域の学校に就学できるように、全ての学校にエレベーターを設置する考えは。

**市** 計画的にエレベーター設置を進める  
共生の理念のもと、特別支援学級センター校と位置付けた学校に重点設置してきた。防災の避難所や開かれた学校の観点も含め、各学校における児童生徒の就学状況や改修計画を考慮しながら計画的に整備を進める。（大澤教育長）

**他の質問** ふるさと納税の取組み、公立小中学校適正規模・配置に関する手引きへの対応、平成27年度市長の取組み

## 松岡 信生 議員

公明党

### 福祉

#### 手話言語に関する 条例化について

**議員** 現在、国に先駆け地方自治体で「手話言語に関する条例化」が活発化。県内では神戸市を含め5市で制定。宝塚市他でも調整中と聞く。昨年、三田市聴覚障害者関係者や手話サークルの方々と意見交換の場で寄せられたお声から、以前の定例会でも質問した本市での「手話言語に関する条例化」について森市長の考えを伺いたい。

**市** 条例制定に向け検討  
「誰もが幸せを実感するまち」をめざし、先進事例を参考に条例制定に向けて検討してまいりたい。（入江副市長）

**他の質問** 今後のまちづくり、災害に強いまちづくり

## 大西 雅子 議員

公明党

### 福祉

#### 柔軟な支援ができる 共生型福祉施設について

**議員** 社会状況が大きく変化する中、施設のあり方も「富山型デイサービス」のような高齢者・障害者・子どもが一同に集える共生型福祉施設の整備が今後大事であると考えているが市の見解を伺う。

**市** 福祉施設の整備は今後不可欠である  
高齢者や障害者が安心して生活して頂くためには一層の整備充実が不可欠であり、今後福祉施設のさらなる充実を進める。（市長）

共生型の整備を進める予定はないが、整備計画策定に際しては、共生型福祉施設の視点も持ちながら行っていく。（岩越健康福祉部長）

**他の質問** 健康増進を図る保健師の役割



**説明** \*富山型デイサービス:平成5年に富山県内初の民間デイサービス事業所「このゆびとーまれ」を創業したのが始まり。民家を改修した小規模な建物で、対象者を限定せず、地域の身近な場所でデイサービスを提供した柔軟な形態は、開設当初から全国的に注目を集めた。

## 森本 政直 議員

盟政会

### 予算

#### 敬老会行事の予算の見直しを

**議員** 今年は、メッセージと対象者1人当たり1,000円の記念品を市から送付することのだが、各地域により、実施形態も変化している。敬老会行事はすべて地域の裁量で実施できるよう元の状態に戻すべきと考えるがいかがか。

**市** 来年度以降に検証する。  
地域の敬老会行事会場に行かれない方も多いため、今年度から75歳以上の方全員にメッセージカードと記念品を直接お贈りするよう見直した。今後事業の検証を行っていききたい。（本田まちづくり部長）

**他の質問** 森新市長が描く「日本一住みたいまち三田」の施策、防災対応